

富士山クラブ通信

発行：2025（令和7）年2月10日 認定特定非営利活動法人富士山クラブ

Vol.75



2024年6月1日鳴沢村焼間地区の定例清掃にて 前列右から3人目が野口健理事長

●2025年 立春のごあいさつ	1
●ぐるり富士山風景街道一周清掃 2024	2
●富士登山シーズン事業、清掃、森づくり活動	3
●外来植物防除活動	4
●休眠預金活用事業	5
●富士山の日フォーラム参加者募集	6
●事務局からのお知らせ	7



<https://www.fujisan.or.jp>



<https://x.com/fujisanclub>



<https://www.facebook.com/Fujisanclub>



<https://www.instagram.com/fujisanclub/>



web site

2025年 立春のごあいさつ



立春が過ぎ、寒さの中にも少しづつ春の気配を感じる季節となりました。皆さまには当クラブにいつもご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は元旦の「能登半島地震」に始まり、大型台風が相次いで上陸するなど波乱の一年となりました。そして今年は、米国でトランプ大統領の二期目がスタートします。

その政策は予断を許しませんが、世界の様々な変化のスピードが加速し、振れ幅も大きくなってくると感じます。私たちも、そうした変化に覚悟を持って備えなければならないと考えております。

野口健理事長も昨年4月に台湾東部で発生した地震への台湾当局の取り組みと能登地震での対応を比較し、「台湾は地震が発生した約3時間後には快適な避難所運営がスタート。あまりの迅速さに驚いたが、有事に対する危機感はわれわれとは別次元」と指摘、「日本人は希望的観測を優先する傾向にあるが、現実はその通りにならない」(1月9日付産経新聞「直球&曲球」)と警鐘を鳴らしています。

富士山を取り巻く状況は、インバウンドの急増や外来種の繁殖、森林限界の上昇、シカの食害など解決すべき課題が山積しています。今年は「ヘビ年」。ヘビは脱皮を繰り返し、成長していく動物と言われています。困難な状況にあっても、それを新たな挑戦の機会ととらえ、自分自身を再生させながら、したたかに、しなやかに再生するチャレンジの年としたいと思いを新たにしているところです。

事務局長 七井辰男

ぐるり富士山風景街道一周清掃 2024

2024年10月19日、本年も市民・団体・企業・自治体・官公庁等による「ぐるり富士山風景街道」実行団体ネットワークの清掃活動実行委員会事務局として、「ぐるり富士山風景街道一周清掃」を行いました。節目となる10回目の開催を実施することができ、合計58名の参加により、国道139号青木ヶ原樹海・富岳風穴付近の清掃活動を行いました。静岡県においても「道の駅朝霧高原」周辺にて開催され、山梨・静岡同日の一斉実施イベントとなりました。



【これらの活動は 「関東地域づくり協会」助成金 を活用して行われています】

「ガイドウォークと森のアロマ研修会」を実施しました

2024年10月6日、山梨県立富士山世界遺産センターにて、自然環境を考える・楽しむプログラムとして「ガイドウォークと森のアロマ研修会」を開催しました。

富士山麓の遊歩道にて、ネイチャーガイドによる森林浴と森のはなしを楽しんだあと、アロマセラピストによるアロマセラピーの基本的な講義と、実際にアロマオイルを使用した活用法・楽しみ方などを学びました。様々な効果をもたらす多様なアロマオイルを、自分の好みで選んでブレンドしたり、香水にするなどの体験を通じ、自然や植物の力と、生物とのつながり、人間が環境を保全することができる身近に感じることのできる有意義な時間となりました。



【これらの活動は 「富士急行(株)」協賛金 及び「セブン-イレブン記念財団」助成金 を活用して行われています】

静岡：富士登山シーズン事業、清掃ボランティア、森づくり

【富士登山シーズン事業】 2024年の富士登山シーズンも行政との協働で開山期のごみ問題への取り組みを実施しました。静岡県からの委託事業「富士山のごみ持ち帰りマナー向上キャンペーン」では、登山者へごみ袋を配布しごみの持ち帰りの呼び掛け、富士宮市からの委託事業「富士宮口登山道状況調査」では、登山道のごみの回収・状況調査等を行いました。



【清掃ボランティア】 ご支援をいただく企業のみなさんと（参加11社）、年間を通じ活動を実施しました。海岸の海ごみ、山麓を走る幹線道路沿いのポイ捨て、山腹の大規模不法投棄など多くのごみを回収しました。静岡県が進める「海洋プラスチックごみ防止6R県民運動」では、シンボルイベントの運営を担当させていただきました。



【森づくり : COSOMOエコ基金助成】 奥山フィールド西白塚では、ネイチャーガイド+森づくり作業のエコツアーや、里山フィールド栗倉地区では、森林整備や環境教育を体験プログラムとして、企業研修や学校団体の課外講義（参加10団体）、市民の方に向けたイベント企画等の機会にご提供しています。北山地区では「しづおか未来の森サポートー」のもと、地元企業・行政との協働で活動を推進しています。



外来植物防除活動（特定外来種、国内外来種）

【河口湖アレチウリー掃作戦】 富士河口湖町主催「一万人の清掃活動」を皮切りに、5月末～11月末に19回、河口湖畔に生育する特定外来生物アレチウリの防除を、北の大石公園から～桑崎～さくらの里公園～小海公園～シッコゴ公園～八木崎公園～大池公園～船津浜～浅川～河口～と、西から東へ進めました。生育地点のGPSつき画像を撮影し記録、富士山科学研究所の安田先生から地図データを取得、根気強く駆除成果を把握していきます。今後は河口湖畔の生態系を学ぶ生き物観察会も実施予定、お楽しみに！◆西松建設生物多様性保全活動◆富士急行協賛活動◆河口湖アレチウリー掃作戦実行委員会◆水辺のごみ見つけ！参加活動◆ふるさと清掃運動会参加活動



【スバルライン五合目外来種防除活動】 ヨモギ、シロツメクサ、オオバコ、セイヨウタンポポ、人の移動によって五合目まで入り込んでしまった国内外来種4種の防除を11月に実施。五合目の生



態系保全と高山帯への侵入を予防する活動に、地元の子どもたちにもご協力いただきました！午後は晩秋のお中道トレッキングも堪能◆山梨県富士山科学研究所受託◆富士急行協賛◆富士山アウトドアミュージアム協力◆ふるさと清掃運動会参加活動

【国道469号沿線オオキンケイギク防除活動】 特定外来生物オオキンケイギク、花が咲く前の4月に1回抜き取り防除を実施しました。活動増は叶いませんでしたが、生育範囲の縮小と生態系保全を目指し、今後も生育確認エリアの端から集中的に防除を進めます。◆明治グループ労働組合連合会活動◆ふじさんネットワーク富士山外来植物撲滅作戦、富士山みがきあげ作戦参加活動



休眠預金活用事業

2024年度 休眠預金活用事業（緊急支援枠助成） 悩みや困難を抱えた子どもと家族のための 地域連携支援プログラム（単年度助成）

当クラブは休眠預金等活用法・資金分配団体として、子ども、子育て、教育、女性支援分野に取り組む、県内の7民間団体を公募により採択しました。助成金（総額3,000万円）支給する資金支援のほか、各団体のアウトカム（活動で目指す成果目標）達成に向けて、各団体との月次面談、活動や協働を進めるための助言、組織基盤強化や連携環境整備などの非資金的支援を、プログラムオフィサー青木、宇佐美、新津の3人が伴走支援を行い、地域の社会課題解決に取り組んでいます。



■実行団体と助成事業内容（あいうえお順）

外部審査員による審査で応募18団体から7団体を採択

●芦安ママズ（南アルプス市）

子育ての地域力UP！～住民みんなが家族のように関わり、不安のない子育てができる地域をつくるプログラム【過疎地域の子育て中のママが、地域食堂やオール芦安住民参加ができる交流プログラムを実施】

●NPO法人 きらきら星（富士川町）

外遊び推進プロジェクト【地域の大人、子育て家庭、学生、若者らが、プレーパークなど野外での体験活動を通じて、人と人、地域とのつながりをつくる】

●社会福祉法人 子育ち・発達の里

妊娠そうっとSOS山梨【望まぬ妊娠に悩む若い女性や若年ママの相談、生活支援、若者への性教育、イベントや駅ポスターで、地域へのアドボカシー実施】

●NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆう

地域で支えあう家事・子育てサポートKajiCo事業【研修を受け、子育て経験豊富なママたちが、子育て家庭の家事サポートを支援、子育てを地域で支援】

●ぽかぽかキャンプ

ぽかぽかマルシェ【障がい児とその親たちが、ユニバーサルでインクルーシブなマルシェを開催、障がい者の声を地域や行政に届ける活動実践とアドボカシー】

●NPO法人 WakuWakuの家

不登校・発達障害の悩みや困難を抱えた子どもと家族を救う連携支援プログラム 点と点をつなぐ支援・仕組みの構築を目指して【こどもをまんなかに、学校、福祉、医療、家庭（不登校児童・親）をNPOが対話をコーディネートし、複合的な支援のしくみつくり】

●一般社団法人ワンオブハート

急増する不登校児童のための支援事業【不登校のこどもたちが参加できるこども食堂、自立支援プログラムの実施や不登校支援団体をつなぎ、支援の届いていないこどもへのアウトリーチに取り組む】

■中間活動発表会 2024年10月

地域の行政や福祉関係者、JANPIA（日本民間公益活動連携機構）の事業担当者を招き、休眠預金先輩団体（NPO法人スペースふう、NPO法人bond Place）も出席し、助成活動について、中間発表会を行いました。

各実行団体は、活動進捗の状況や、活動によってどのくらい困難を抱えた子どもたちやその家族へ支援が届いたか、地域の支援者（団体）や協力者（団体）との連携関係が出来たのかを、地域つながりマップで示し、活動の成果を見える化して発表しました。また後半期の活動に向けて、課題の共有や今後の活動の展開を、先輩団体などゲスト参加者も加わり、活動担当者が共に考え、議論するワークショップを行いました。



HPで実行団体の中間報告冊子を公開しています。
右QRコードからご覧ください。

■当クラブ理事長・理事が活動視察へ 2024年12月

野口健理事長、石坂、国吉、佐藤、七井各理事が、実行団体を2日間にわたり訪問、活動の様子をヒアリング、担当スタッフや地域の方々と懇談、交流しました。



■実行団体向け研修会の実施 2025年1月

年度末の助成期間終了を迎えるにあたり、活動継続や今後の展開、出口戦略を考えるために、優れた実践事例（講師：子どもの未来をかんがえる会）、組織基盤（講師：日本NOセンター）、政策提言（講師：構想日本）をテーマに、研修会を実施、来年度活動に活かせる学びを深めました。



3月開催講座・活動発表会 一般の方（団体）も参加可能
詳細、参加申し込みはHPをご覧ください。

●NPO基盤強化連続講座

会計・財務基本講座～学び直しと再確認

日時：2025年3月7日（金）13：30～15：30

場所：生涯学習推進センター会議室（甲府駅徒歩5分）

●実行団体 活動成果発表会

日時：2025年3月27日（木）10：00～16：00

場所：山梨県立図書館イベントスペース（甲府駅前）

富士山の日フォーラム 2025

「日本とネパール～人と自然の物語」参加者募集

日時：2025年2月23日(日) 13:00～15:00 【入場無料】

場所：東京都港区立エコプラザ（港区浜松町1-13-1）

第1部 リレー講演 「富士山、ヒマラヤの自然と人々の交流」

富士山とヒマラヤ山麓を舞台に、清掃や災害・教育支援活動を続けている野口健理事長が、両国の自然や文化、友好関係について講演します(事前収録による映像出演)。続いて、野口理事長とともに教育支援や清掃活動を行ってきたネパール出身のホテリエ、ターパ・ゴダル・ウパカルさんと、現地で映画製作を続けていた伊藤敏朗監督(写真下)を講師にお迎えします。



第2部 シンポジウム 「人と自然、文化について語ろう」

ウパカルさん、伊藤監督に加え、富士山クラブの理事で、長年ネパールでの学校設置に尽力されてきた石坂政俊さんにもご登壇いただき、ネパールと日本の生活観の違いや共通点、未来に向けた想いを語ります。



参加お申込みはQRコード、または富士山クラブホームページより (fujisan.or.jp)

協賛：富士急行株式会社 富士河口湖町

事務局 からの お知らせ

【ようこそ新会員さん！】柳瀬りか、竹内宜男、小林渢人、鈴木よし子、
田中佳子、伊藤薰、小林勝利 (敬称略)

【2024年 ご寄附有難うございます、今後の活動に活用いたします！】

有限会社富士山みはらし、丸和貿易株式会社、有限会社T.M.WORKS、渡邊靖之、河村日佐男、鹿川明香、吉原利一、平野孝、隅田芳男、小笠高明、ホテルマウント富士、齋藤伸博、大宮仁、ハイランドリゾート株式会社、河口湖ジェットビレッジ、市川幸次、株式会社富士レークホテル、伊勢美代子、渡辺恵子、魚亭かみや、林製紙株式会社、認定NPO法人さわやか青少年センター、株式会社富士急ハイランド、プレステージ株式会社富士五湖支店、西村依子、株式会社ツチヤ、今村貞昭、アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社、マックスバリュ東海株式会社マックスバリュ富士宮万野原店、みはらし亭、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、望月好夫、イオンリテール株式会社イオンスタイル甲府昭和店、丸紅コンシューマープランズ株式会社（FILA）、五月女貴志、高橋和彦、深澤竜介、石井芳子、茂岡順子、五藤亜紀子、山口由季、上原繁子、宮崎安代、川島攻、溝口麻里子、松枝秀子、秋山一雅、坂元輝子、中田まゆみ、本鍋田洋一、岡崎信一、福本正勝、星野玄三、羽賀育子、アビーム健康保険組合、株式会社今田商店、みなと区民まつり出展ブース募金箱、上田幸恵、神山直規、山田裕康、山本健一、鈴木敬吾、野口哲哉、北村正任、龜山久雄、小木曾あけみ、渡辺恵子、株式会社東日本フーズ ささの屋芝大門店、ニチレイマグネット株式会社、小林勝利、藤井俊一、藤井弘子、飛奈勤、浮田真理子、富士山クラブイベント設置募金箱、Tシャツ12枚分 (敬称略)

寄附金受領証明書を別途送付いたしましたので、確定申告の際にご活用ください。

富士山クラブにデジタル簡易無線機がやってきた！

株式会社オンザウェイより2WAYリース 活動に欠かせぬアイテム無線機。無線機のメンテナンスや手続きでお世話になっていた株式会社オンザウェイ様より、2024年11月末、デジタル簡易無線機を2WAYリースにてご提供いただきました。アナログ機の使用が終了となる11月30日を前に、デジタル機への切り替えについてご相談したところ、富士山の環境保全活動の一助としてデジタル簡易無線機の2WAYリースという形で支援させてください、とご提案いただきました。

無線機についての各種ご相談は「無線機のことならお任せください」のオンザウェイまで！

(下記QRから詳細ブログ)



Supported by
OntheWay

世界共通語「MOTTAINAI」 きっかけは毎日新聞でした

「もったいない 国際語に」

マーティさん来日 環境破壊の根源といに

再利用の文化日本から

8

持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み



環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんは生涯にわたって人々の生活向上と女性の権利拡大、教育と福祉の拡充に貢献されました。MOTTAINAIキャンペーンは、その遺志を受け継ぎ、ケニア山麓で382万本を植林。育樹活動等を通じて住民の生活の質の改善に努めています。



キャンペーンでは、全国各地で4R(リデュース、リユース、リサイクル、リスペクト)の大切さを呼びかけ、子どもたちだけで売り買ひするキッズフリーマーケットや国内での植林活動等を通じて森林や海岸の保全、緑豊かなまちづくりを実践してきました。



キャンペーンに賛同するブラジルの環境活動家のマリナ・シルバさんは、環境大臣時代、地球第一の肺と言われるアマゾンの森林伐採率を57%削減させました。毎日新聞とのインタビューでシルバさんは「もったいない」という言葉は自然や資源、次の世代をリスペクトするという意味がある」と語り、世界中で新たな消費や文明のあり方を創造すべきだと提言しています。

毎日新聞

認定特定非営利活動法人 富士山クラブ

本部・富士山クラブもりの学校 〒401-0332 山梨県南都留郡富士河口湖町西湖2870

TEL:0555-20-4600

静岡事務所 〒418-0111 静岡県富士宮市山宮3645-116

TEL & FAX :0544-58-9120

■郵便振替

■銀行振込：ゆうちょ銀行 二三八店

◇会費・寄附金の振込先

口座名：富士山クラブ

口座名：認定特定非営利活動法人富士山クラブ

記号番号：00870-8-13047

口座番号：普通3683240